

ドアセンサ <ES800MGL> データシート 簡易マニュアル



《特長》

- ・窓や扉に設置し開閉を感知します。
- ・冷蔵庫やキャビネットにも使用可能です。
- ・温度センサを内蔵しています。
- ・動作表示ランプ 緑：扉閉 赤：扉開
- ・1コントロールパネルへの接続台数は64台です。

カテゴリ	仕様
無線	通信範囲:約300m(遮蔽物なしの場合)※各デバイスとコントロールパネルの通信距離 ECOP双方向無線プロトコル データセキュリティ:128bitAES暗号化 周波数: DSSS 2.4GHz帯
機能	動作表示LED:緑=扉閉/赤=扉開 温度センサ内蔵 最大接続台数:64台(コントロールパネル1台につき)
電源	単三電池 1本(動作目安:約2年)
本体サイズ	・通信部 サイズ:W 72mm×H 28mm×D 23mm 重量:40g(本体25g+単三電池1本15g) ・磁石部 サイズ:W 52mm×H 22mm×D 17mm 重量:25g
動作環境	保存周囲温度:-20℃~50℃ 動作温度:0℃~50℃ 湿度:最大95%(結露無きこと)

※本仕様書は品質向上の為、予告なく変更する場合がございます。

<ドアセンサの接続>

※本機の設定にはコントロールパネルが既にインターネットに接続されており、TAGURI@HOMEアプリの初期設定が完了済みであることが必要です。

※本機の設定は取付を行う前に、コントロールパネルの近くで行うようにしてください。

- ①TAGURI@HOMEアプリ  を開きます。
- ②アプリ画面左上の  をタップし、メインメニューを開きます。
- ③メインメニューの  機器 をタップし、機器画面を開きます。



- ④機器画面上部の  新しい機器の追加 をタップし、新規機器追加画面を開きます。



- ⑤新機器追加画面で  ドアセンサ をタップし、ドアセンサの接続画面を開きます。

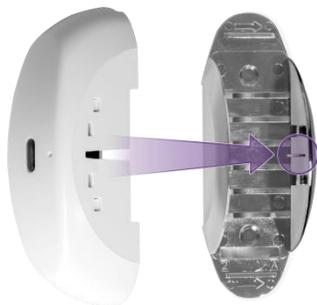


- ⑥ドアセンサ本体LED側の両端にあるくぼみにコイン等を差し込みひねりながら台座を取り外します。

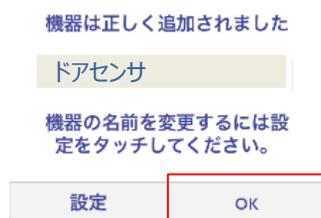
※接続画面を開く前に電池を入れると、コントロールパネルと本機の接続ができません。



- ⑦接続画面を開いた状態で手順①で開けた電池ボックスに単3形アルカリ乾電池を1本挿入します。
電池を挿入したら本体のくぼみと台座の突起を合わせて取付台座をつけなおしてください。



- ⑧ドアセンサとコントロールパネルの接続に成功すると機器名の入力を求めるウィンドウが表示されます。
⑨任意で機器の名前を入力し[OK]をタップしたら接続設定は完了です。



<ドアセンサの設置>

※両面テープの粘着力が低下し本機が落下する恐れがあるため、壁面等の設置場所を清掃し、ほこり等が付着していない平らな面に本機の設置を行ってください。

- ・ドアセンサ本体の両面テープを使用し、設置場所にしっかりと貼りつけてください。
- ・ドアセンサ本体LED側を扉の枠に貼りつけ、LEDが赤や緑に点灯する扉の位置に磁石部を貼りつけます。
メモ：LEDの転倒について
赤＝扉が開いたことを示します。
緑＝扉が閉まったことを示します。



- ・ドアセンサ取付例

内開きの場合



外開きの場合

